

等裏切工員家族の野菜賣に對し「ホイコット」を爲すこととし、之に代るに同縣旭村農民組合員家族より購入することとし「野菜は農民組合員より買へ、埼玉の野菜類に注意せよ」なるビラを組合員に頒布した。

十六日 建國會赤尾敏氏一派來野、活動を開始した。

十八日 爭議團に於ては明年一月より爭議團員の子弟たる小學兒童の同盟休校を爲さしむべき聲明書を發した。尙、社會民衆黨千葉縣第一支部主催の下に行徳町に於て會社汽彈演說會を開催、本部より赤松克麿氏、片山哲氏等出席、去る十六日の會社側暴力團の第十六工場等議團集合所取壊問題を中心とし會社汽彈の演說を行つた。

十九日 國粹會は勞資問を歴訪し調停の勞を執らんとしつゝありしが、本日會社は斷然第三者の調停を拒絕した。

二十日 會社は爭議團員七三五名に對し書留郵便を以て解雇狀を發送した。

總同盟最高幹部等は昨今爭議一層深刻化し之を從來の如く關東釀造勞働組合の統制に委すこととは廣く勞働運動の立場より不利益なりとし十九日東京に開催の關東同盟會の席上野田より出席の堀越梅男氏等より情況を聴取し協議の結果愈々爭議團の統制を關東同盟會に移すべく決定し、本日本部より松岡駒吉氏、田中小二郎氏、土井直作氏等來野緊急總會を開き協議の結果滿場一致爭議統制を關東同盟に移管することに決した。

二十一日 會社は爭議團の大部分を職首し續々新職工を以て補充し、爭議團よりの再三の會見申込を一蹴し更に之に應ぜず強硬なる態度を持し「未就業工員解雇に就て」と題する印刷物を縣下有力者及顧客先に發送した。

建國會、國粹會其他の諸團體は會社の態度強硬にして調停の望なき爲め漸次引揚げることとなつた。

東京ステーションホテルに於て大化會、大行會等の團體は本爭議に關する協議會を開催、總同盟本部の赤松克麿氏及福岡金次郎氏より爭議經過を聴取し、大川周明氏を實行委員長として調停に立つことに決した。

二十三日 爭議團に於ては糶米二百四十俵を購入した。

二十七日 爭議團は小學校兒童盟休の聲明書を發表したるが本日更に對策委員會を開催、小學兒童盟休の件、盟休兒童教授、件其他を

協議した。

二十八日 爭議團は前日の決議通り團員千五百餘名を爭議團本部に集め、堀越梅男氏、齋藤健一氏、山口六市氏等より交々爭議の經過と盟休に至る事情を講話したる後同所愛宕神社に參拜せしめた。尙、年末年始は會社従業員の一部が休業外出し手薄なるに乗じ此際要切防止のため再びビクツチンケを會社工場附近に配流することとなつた。

關東同盟會書記長野口三郎氏は會社の人事係主任石塚氏の實父靜次郎氏を途上に於て顔面に鹽酸を浴せて檢束された。

一 月

一日 爭議團に於ては野田劇場に於て松岡駒吉氏、原虎一氏、齋藤健一氏外各團體の代表者十七名爭議團員に對し交々激勵演說を爲し氣勢を副ふ所あつた。

三日 爭議團に於ては兒童五百名の新年啗大會を開催した。糶米二百四十俵購入。

八日 小學校盟休問題は八日對策委員會に於て協議の結果十五日迄延期することに決し、尙「父兄諸君へ急告！盟休は十五日まで延期す」なるビラ配布。

十六日 爭議團に於ては豫定の如く小學兒童約四百名を本部に集め幹部より盟休の止むなきに至りたる旨の挨拶を爲し「爭議團員兒童としての眞の叫びを神佛に祈願する」と稱し教師赤松常子、齋藤男、亦柳惣吉、重原英雄等の諸氏指揮して各神社等を參拜した。

十七日 小學兒童の同盟休校宣誓式を組合事務所廣場に於て舉行、爭議團幹部、兒童代表、父兄代表等の挨拶に次で教師木村盛氏等の激勵の辭あり悲壯な場面を現出した。

十八日 爭議團の女工達及團員の妻女等約三百名は一週間の神詣と稱し同町香取神社、愛宕神社等に參詣爭議勝利の祈願を開始した。

二十二日 會社は罷業工員一名を解雇した。

二十六日 會社顧問太田靈順氏は途上東京鐵工組合員桑田清の爲め硫酸を浴せられ顔面及後頭部に火傷を負ふ。